

授業 科目	小児看護学概論	担当 教員	専任教員	単位数	1	時期	2 年次 4 月～
				時間数	15		
目的：成長・発達している小児の特徴と取り巻く環境を理解し、小児看護の理念と役割を習得する。							
目標：1) 小児の概要を知り、小児看護の理念と変遷を理解する。							
2) 子どもの人権を尊重した看護を実践するために、必要な知識を習得する。							
3) 成長・発達している子どもの特徴を理解する。							
4) 子どもと家族のおかれている状況を知り、家族の機能と役割を理解する。							
5) 小児保健の動向と小児を保護する法律や保健対策を理解する。							
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	小児看護の特徴と理念	小児看護の対象・目標・役割 小児看護の変遷・小児看護における倫理			講義	専任教員	
2	子どもの成長・発達 1	成長・発達とは・成長・発達の評価 各発達段階における特徴 1			講義		
3	子どもの成長・発達 2	各発達段階における特徴 2			講義		
4	子どもの成長・発達 3	各発達段階における特徴 3			講義		
5	子どもと家族	子どもにとっての家族とは 家族アセスメント 小児と家族の諸統計			講義	非常勤講師	
6	子どもと家族を 取り巻く社会 1	児童福祉・母子保健・子どもの権利			講義		
7	子どもと家族を 取り巻く社会 2	医療費支援 学校保健 予防接種			講義		
8	試験（1h）					専任教員	
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト：小児臨床看護概論 小児臨床看護総論 小児看護学（1）（医学書院） 看護のための人間発達学（医学書院）					
事前準備や受講要件等		自身または身近な人の母子手帳を準備しておく。					

授業 科目	小児看護学各論Ⅰ	担当 教員	外部講師＊	単位数	1	時期	2年次 9月～
				時間数	30		
目的：小児の発達段階における小児の疾患・健康障害の特徴を理解する。 目標： 1) 小児に特徴的な疾患の病態を理解する。 2) 小児に特徴的な疾患の検査・治療・処置を理解する。 3) 虐待を受けた子どもの特徴とケアを理解する。							
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	先天異常	染色体異常・新生児マス・スクリーニング			講義	外部講師	
2	新生児	新生児疾患			講義		
3	代謝性疾患	先天性代謝異常症・糖尿病			講義		
4	内分泌疾患	下垂体疾患・甲状腺疾患・副甲状腺疾患 副腎疾患・性腺の異常			講義		
5	アレルギー性疾患	気管支喘息・食物アレルギー			講義		
6	感染症 1	ウィルス感染症			講義		
7	感染症 2	細菌感染症			講義		
8	呼吸器疾患	肺炎・気管支炎			講義		
9	循環器疾患	先天性心疾患・後天性心疾患・川崎病			講義		
10	消化器疾患	唇裂・口蓋裂・食道閉鎖症・幽門狭窄症・鎖肛 胆道閉鎖症・腸重積・急性乳幼児下痢症			講義		
11	血液・造血器疾患 悪性新生物	再生不良性貧血・血友病 白血病・脳腫瘍			講義		
12	腎泌尿器疾患	ネフローゼ症候群			講義		
13	神経疾患	脳性麻痺			講義		
14	精神疾患 不登校	発達障害・神経症的障害・行動障害 不登校・不登校の子どもをもつ親の理解			講義		
15	虐待	虐待の定義・分類・発生要因 虐待を受けた子どもへのケア			講義		
評価方法		筆記試験(1時間別日に実施します)					
参考文献と資料		テキスト： 回数:1～13 小児臨床看護各論 小児看護学(2) (医学書院) 回数14～15 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学(1) (医学書院) 小児臨床看護各論 小児看護学(2) (医学書院)					
事前準備や受講要件等							

担当教員の＊印は実務経験のある教員

授業 科目	小児看護学各論Ⅱ	担当 教員	外部講師 専任教員	単位数	1	時期	2 年次 9 月～
				時間数	30		
目的：小児の発達段階に応じた看護及び健康障害を持つ小児とその家族に対する看護ができる能力を養う。							
目標：1) 小児の成長と発達過程を理解し、健全な成長と発達を促進するための援助を学ぶ。							
2) 病気・健康障害をもつ小児や家族の看護を理解する。							
3) 外来受診・入院を必要とする小児と家族の看護を理解する。							
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	小児の栄養	栄養・母乳栄養・人工栄養・離乳食			講義	非常勤講師	
2	健康な小児の日常生活 1	基本的生活習慣・遊び・事故防止・問題 1			講義		
3	健康な小児の日常生活 2	基本的生活習慣・遊び・事故防止・問題 2			講義		
4	健康な小児の日常生活 3	基本的生活習慣・遊び・事故防止・問題 3			講義		
5	健康な小児の日常生活 4	基本的生活習慣・遊び・事故防止・問題 4			講義		
6	病気・障害をもつ子どもと家族の看護 1	疾病・障害が子どもと家族に与える影響			講義		
7	病気・障害をもつ子どもと家族の看護 2	子どもの健康問題と看護			講義		
8	外来における子どもと家族の看護	外来看護の特徴			講義		
9	入院中の子どもと家族の看護	入院環境と看護の役割 入院生活への適応を助ける看護 退院への支援			講義		
10	子どもにおける疾病の経過と看護 1	急性期・慢性期にある子どもと家族の看護			講義		
11	子どもにおける疾病の経過と看護 2	周手術期の子どもと家族の看護			講義		
12	子どもの状況に特徴づけられる看護 1	在宅療養中の子どもと家族の看護 障害をもつ子どもと家族の看護			講義		
13	子どもの状況に特徴づけられる看護 2	終末期にある子どもと家族 災害時の子どもと家族の看護			講義		
14	新生児の看護	低出生体重児の看護・ファミリーセンタードケア			講義	外部講師	
15	まとめ・試験					非常勤講師	
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト： 回数1～13 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学(1) (医学書院) 回数14 小児臨床看護各論 小児看護学（2）（医学書院）					
事前準備や受講要件等							

授業 科目	小児看護学各論Ⅲ	担当 教員	専任教員	単位数	1	時期	2 年次 1 1 月～
				時間数	30		
目的：病気・健康障害を持つ小児とその家族の諸問題を捉え、問題解決の方法に基づいた援助ができる能力を養う。							
目標：1）小児が発症する症状を理解し、援助方法を理解する。							
2）小児看護に必要な技術を理解する。							
3）健康障害や入院が小児・家族に及ぼす影響を理解し、看護展開ができる。							
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	看護過程 1	事例紹介及び情報の分類			講義	専任教員	
2	看護過程 2	病態関連図			講義		
3	看護過程 3	計画立案（検温・観察）			講義		
4	看護過程 4	対象に応じた援助 1（バイタルサイン）			演習		
5	看護過程 5	対象に応じた援助 2（バイタルサイン）			演習		
6	看護過程 6	援助の振り返り			講義		
7	看護過程 7	全体像 1			講義		
8	看護過程 8	全体像 2（情報の分析・解釈）			講義		
9	看護過程 9	計画立案（清潔・学習・遊び） 1			講義		
10	看護過程 10	計画立案（清潔・学習・遊び） 2			講義		
11	看護過程 11	対象に応じた援助 1（清潔・学習・遊び）			演習		
12	看護過程 12	対象に応じた援助 2（清潔・学習・遊び）			演習		
13	看護過程 13	援助の振り返り			講義		
14	看護過程 14	小児看護過程のまとめ			講義		
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験 40点 記録物（看護過程）による評価 60点					
参考文献と資料		テキスト： 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学（1）（医学書院） 小児臨床看護各論 小児看護学（2）（医学書院） 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践（ヌーヴェルヒロカリ） ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト（ヌーヴェルヒロカリ）					
事前準備や受講要件等		看護過程：自己学習をして授業に臨む。					